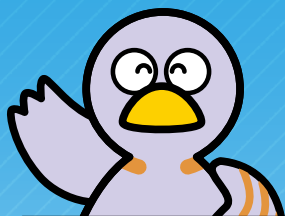


お子さんの



保護者
の方へ

スマートフォン だいじょうぶ?

平成31年3月作成

スマートフォン(以下「スマホ」)は、正しく使えばとても役立つ便利なものです。
しかし使い方によっては、誹謗中傷やいじめの温床になったり、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけとなったりすることもあり、子供たちが被害者だけでなく加害者になるケースも生じています。
また、過度の使用によって学業等に支障をきたすこともあります。

こんな例があります



誹謗中傷の被害者、加害者になる。



ネットで知り合った人に一人で会いに行き、被害に遭う。



過度な使用から学業等に支障をきたす。

トラブルから子供を守るには

高校生の約96%が自分のスマホを所有しているという調査結果があります。子供をトラブルから守り、スマホを適切に利用させるためには、家庭での見守りや指導も必要です。

✔ フィルタリングを適切に設定しましょう

子供が意図せずトラブルに巻き込まれないよう、フィルタリングを設定し、見守りましょう。

✔ 利用に伴う危険性を家庭でもよく話し合しましょう

スマホを安全に使う力を育むために、実際のトラブル例を知り、子供と一緒に考えてみましょう。

✔ 家庭で利用ルールを決め、定期的に確認しましょう

押し付けではなく、子供とよく話し合っ決めて、子供の成長とともに定期的にルールも見直しましょう。

家庭でのルールを決めましょう

気をつけたいトラブルと家庭でのルール例

● 不適切な動画の投稿

ショッピングモールで悪ふざけをしている動画を撮影し、SNSに投稿した。その動画が拡散してしまい、その後店舗から損害賠償請求を受けた。

(ルール例)

- 投稿・書き込みをする前に、他者に迷惑をかけるか考える。

● SNSでのトラブル

SNSで知り合った面識のない人から、ライブと一緒に行こうと誘われた。待ち合わせ場所に行ってみると、SNSの写真とは違う人で、無理やり車に乗せられそうになった。

(ルール例)

- SNS等で知り合った人と一人で会わない。
- 個人情報や写真を気軽に掲載しない。

● スマホ依存

無料通話アプリを使って友達と連絡をとっていたが、既読無視を指摘されることが怖くてスマホを片時も手放せなくなってしまった。

(ルール例)

- 友達どうして連絡をとって良い時間帯を決める。
- 家族の共有スペースでスマホを利用する。

● 課金ゲームトラブル

オンラインゲームの有料アイテムを購入するため、無断で親のクレジットカードの番号を利用して決済していた。

(ルール例)

- 課金には限度額の設定されたプリペイドカードを利用する。

ルールをつくろう

家庭でよく話し合い、スマホの利用に関するルールを決めて、みなさんで守りましょう。

()家のルール

困ったときの相談窓口

● ネットいじめやネットトラブルに関する通報窓口

ネットパトロール通報窓口: netpat-saitama@true.ocn.ne.jp

- ※いただいた情報は、トラブルを解決するために必要な関係機関等へ情報提供いたします。
- ※このアドレスは通報窓口のため、いただいたメールへの返信は基本的にはいたしません。

↓こちらから
通報できます。



埼玉県のマスコット
コバトン&さいたまっち

● インターネット被害に関する相談

最寄りの警察署または

けいさつ総合相談センター(月~金曜日 8:30~17:15、祝休日・年末年始を除く)

☎#9110 又は、048-822-9110(ダイヤル回線及び一部のIP電話の場合)

お問い合わせ

埼玉県教育局県立学校部生徒指導課

☎048-830-6908